



発行：福井県勝山市 編集：企画課
911 福井県勝山市元町1丁目1番1号

わくわく

人 口 (57. 6. 1現在)
男女計 15,199人
16,005人
31,204人
世帯数 7,764

防ごう 非行 助けよう立ち直り

「社会を明るくする運動」(七月一日～三十一日)が始まります。

第三十二回“社会を明るくする運動”が七月一日から一ヶ月間、法務省の主唱により全国で行われます。

この運動は犯罪の防止と罪を犯した人たちの更生について、国民すべてが力を合わせ、明るい社会を築くことを目的としています。
今年の運動の要点目標は「地域活動の推進による少年の非行防止と更生の援助」です。
わたしたちみんなで力を合わせ犯罪のない明るい社会をつくりましょう。

勝山の非行少年

昨年は二百七十四人が検挙・補導されました。

十四歳以上、二十歳未満の少年が刑法に触れる罪を犯すと、

「刑法犯少年」として検挙・補導されます。刑法犯少年は、こ

こ数年増え続け、いまや、少年

非行は戦後第三の、しかも最大

のピークを迎えています。

昨年（昭和五十六年）刑法犯

で検挙・補導された少年は、全

国で十八万四千九百二人（前年

比一万八千八百二十九人、一・三%増）と戦後最高を記録。ま

ことに憂うべき状態となっていました。

十四歳以上、二十歳未満の少

年が刑法に触れる罪を犯すと、

「刑法犯少年」として検挙・補

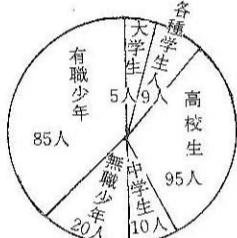
導されます。刑法犯少年は、こ

こ数年増え続け、いまや、少年



ぐ犯不良行為少年補導状況

1) 学職別状況



2) 年齢別状況

年齢別	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	合計	商年四月
飲酒					1	4	(1) 5	5	(1) 15	(2) 13
喫煙				10	20	21	(1) 35	(1) 14	(2) 100	(3) 74
薬物乱用					2	2	2		6	(1) 2
深夜外出		2	7	9	(2) 7	(1) 13	(1) 8		(4) 46	(8) 67
家出					(1) 1	1			(1) 2	(3) 6
無断外泊										(3) 3
不純性交遊							1	1	2	
不良交友	(2) 2	1	1	(1) 5	(1) 1	1			(4) 11	(2) 12
怠学						2	3		5	(1) 11
怠業								1	1	5
不健全娯楽				2	6				8	(1) 12
暴走行為					4	6	3	2	15	70
その他	2			1	(1) 3	(1) 5	1	1	(2) 13	(1) 29
合計	2	(2) 2	3	21	(3) 53	(4) 51	(3) 60	(2) 32	(4) 224	(25) 304
前年同期	1	5	8	(4) 25	(2) 68	(9) 91	(7) 68	(3) 38		

() 内は女子の内数です

奥越青少年愛護センター補導委員 八十人を委嘱

非行の低年齢化、集団化、多様化および広域化が強まっていることから、大野・勝山地区庁域行政事務組合（大野市、勝山

喜（本町四）、大石橋金治（昭和町一）、油谷甚一（芳野町一）、長田三代松（郡町二）、森下良夫（昭和町一）、森下嘉重（旭町一）、浅見清一郎（本町三）、大道秀雄（沢町二）、生内和子（元町二）、伊藤元恵（旭町三）、黒岩温江（旭町一）、森鳴昌雄（勝高）、玉木久堅（精華）、野辺昭（成器西小）、宇佐美博文（成器南小）、安岡信子（平泉寺小）、細野一雄（村岡小）

（元町一）、山岸とみ子（元町二）、川上攝津子（栄町三）、前田まさ

（元町二）、北川喜代治（沢町二）、山岸千代子（元町三）、奥村ヒサエ

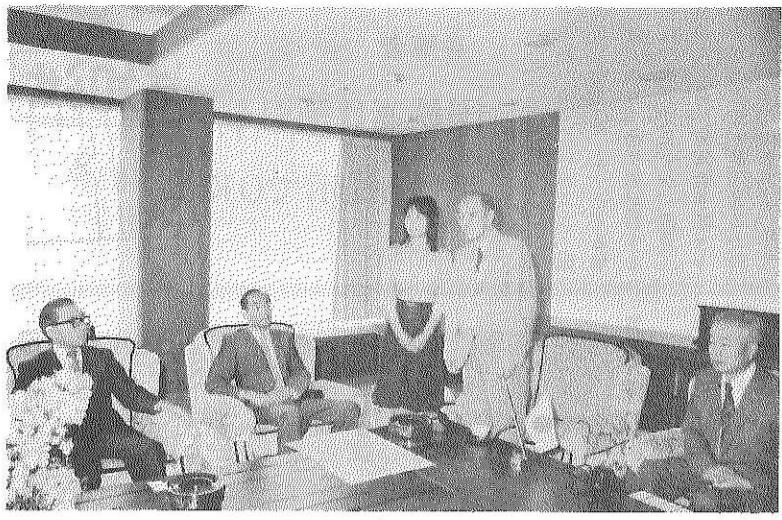
（元町一）、山岸とみ子（元町二）、齊藤ア

川上攝津子（栄町三）、前田まさ

（元町二）、北川喜代治（沢町二）、山岸千代子（元町三）、奥村ヒサエ

（元町一）、山岸とみ子（元町二）、齊藤ア

川上攝津子（栄町



▲熱烈歓迎に感謝の意を述べる顧博士 右は前田博士

中野侯のトリゴニオイデス 中国の顧知微博士来市

—中共同で研究—

▶化石展でトリゴニオイデス
スを観察する顧博士

中国浙江省(せつこうじょう)で発見された約一億年前の貝の化石と、本市の北谷町中野侯が、中野侯での発見者である千葉大学の前田四郎博士とともに、千葉大学名誉教授の前田四郎博士が、昭和三十八年に本市の中野侯で、トリゴニオイデスと呼ばれる淡水性の貝の化石を探取。前田博士はこの研究論文を中國古生物研究所教授の顧知微博士の学界へ送り、中国にも同じ化石が出ていないかを問い合わせたところ、中国科学院南京地質研究所教授の顧知微博士は、今回日本学術振興会の招請を受け、中国にも同じ化

石が出ていないかを問い合わせたところ、中国科学院南京地質研究所教授の顧知微博士は、昭和三十九年に本市の中野侯で、トリゴニオイデスと呼ばれる淡水性の貝の化石を探取。前田博士はこの研究論文を中國古生物研究所教授の顧知微博士へ送り、中国にも同じ化

石が出ていないかを問い合わせたところ、中国科学院南京地質研究所教授の顧知微博士は、昭和三十九年に本市の中野侯で、トリゴニオイデスと呼ばれる淡水性の貝の化石を探取。前田博士はこの研究論文を中國古生物研究所教授の顧知微博士へ送り、中国にも同じ化

石が出ていないかを問い合わせたところ、中国科学院南京地質研究所教授の顧知微博士は、昭和三十九年に本市の中野侯で、トリゴニオイデスと呼ばれる淡水性の貝の化石を探取。前田博士はこの研究論文を中國古生物研究所教授の顧知微博士へ送り、中国にも同じ化

石が出ていないかを問い合わせたところ、中国科学院南京地質研究所教授の顧知微博士は、昭和三十九年に本市の中野侯で、トリゴニオイデスと呼ばれる淡水性の貝の化石を探取。前田博士はこの研究論文を中國古生物研究所教授の顧知微博士へ送り、中国にも同じ化

**トリゴニオイデスとは
どんな化石か**

きで訪日したことなどもないよ
うやく、勝山市への訪問が実現
したわけです。

顧博士は、この方面の中国で
の第一人者であり、広島大学、
大阪市立大学、京都大学などで
研究者と意見交換、講演などの
活動を行なってきました。

この日午前中、顧博士と前田
博士は池田市長を訪ね、いろいろ
お懇談のあと、いま、教育福祉
会館で開かれていた「手取層群
と勝山の化石展」を見学、午後
は中野侯の現地で化石採取をし、
調査をされました。

翌八日の午後は、南部中学校
で、全校生徒を前に化石について
約一時間にわたって講演をさ
れました。

顧博士は和泉村も訪ね、調査
をするとともに和泉村の朝日中
学校でも講演をしたあと、勝山
市の熱烈歓迎をたいへん喜ばれ
ながら帰途につかれました。

ものと期待されます。

トリー・アーバー

